

メッセージ 海と渚

Message Sea and Beach

発行者 公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24 湯島ベアビル7F
TEL 03-5800-0130 FAX 03-5800-0131
E-mail info@umitonagisa.or.jp URL http://www.umitonagisa.or.jp



Twitterフォロー
お願いします

@umitonagisa

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言下、皆様は如何お過ごしでしたか？

海浜清掃の実施が危ぶまれるとの連絡も参りましたが、天気の良い海岸では、風も紫外線も十分あり、密にならずに活動可能と、予定どおり海浜清掃を実施頂いているケースが多いと伺っております。くれぐれも安全で事故が無いようお祈りいたします。

この4月、三密、外出抑制、行動変容の要請に応じて、当機構でも在宅勤務、リモートワークを導入しました。

在宅勤務は、作家、設計者、芸術家に類する特殊業務でのみ可能で、大多数の業務は、事務所内で十分に連絡をとり、会議を行い、方針を定め、決裁文書に関係者の確認印をとることで初めて成立するものと疑問を抱かず、自身が在宅勤務を経験するなど思ってもおりませんでした。

しかし、10人のうち8人以上が在宅勤務で、インターネット経由の意思決定が主流となると、仕事改革、職場改革、ニューノーマルの始まりです。普段の日常を根本から見直す機会になりました。

東京の外務本省から見れば、在外公館での勤務はまさしくリモートワークでありました。セキュリティ確保のため、公電の起案要領は、「必要で十分な情報を、簡潔で要領よく最小限の文字数で作成すること」と。大臣からの訓令には必ず回電期限が明示されておりました。在宅勤務のコミュニケーションで大事なルールのひとつでありましょう。

この1年は、海洋プラスチックごみ問題対策について国内外で大きな動きがあり、海への関心も急速に高まりました。アクションプランやG20サミット、大阪ブルー・オーシャン・ビジョンと片仮名も溢れました。

クラスター感染、フィジカルディスタンス、ステイセーフと、地球全体で対応が必要となるグローバルイシューでは、どうしても片仮名が多くなるのもやむを得ないようです。

コロナは一過性の流行に終わることを願っていますが、同じグローバルイシューである海洋環境を保全する活動は、感染終息後も、地道に続くことを切に願います。みなさまには当機構の活動にご賛同頂き、引き続きのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

(専務理事 糸 知文)

CONTENTS

表紙	1
1. 令和元年度運営委員会	2
2. 環境・生態系維持・保全活動等支援事業	3~5
SDGsに学ぶ子どもたちの豊かな海づくり	
～渚のワンダーランド創生プロジェクト～Team JIN「仁」	
～「拾い箱」を通じた環境保全「習慣」普及プロジェクト～誇れるふるさとネットワーク	
～第13回・第14回 海藻シンポジウム報告書～江ノ島・フィッシャーメンズ・プロジェクト	
3. 海と渚クリーンアップ活動(海浜清掃活動)報告	6~11
海の羽根募金・なぎさの環境基金・あとがき	12

1. 令和元年度運営委員会

令和2年5月1日(金)(資料送付の日)

令和元年度海と渚環境美化運営委員会は新型コロナウイルスの拡大防止から開催を見送り、各委員に次の資料を送付しました。

送付資料

資料1: 令和2年度事業計画

資料2: 令和元年度事業報告

資料3: なぎさ応募要領

資料4: 募金額推移

その他: メッセージ15号、16号

令和元年度に制作したポスター・カレンダー

令和元年度事業報告

(1) 海と渚の清掃活動普及啓発事業

ア 海と渚の清掃活動への呼びかけ及び支援事業

海浜利用が活発になる「海の日」に併せて海浜等の一斉清掃を呼びかけた。

天皇陛下御即位記念第39回全国豊かな海づくり大会～あきた大会～のプレイベントとして、7月13日秋田県八峰町において、「全国一斉海浜清掃旗揚げ式」を開催し、全国津々浦々に向けて海浜清掃活動を呼びかけた。

イ 海と渚の清掃活動の普及・啓発及び支援

海浜清掃に資機材を提供した。全国1,700ヶ所に自然物用ゴミ袋(大)31万枚・(小)0.7万枚、人工物用ゴミ袋(大)20万枚・(小)0.8万枚を配布した。

(2) 海洋・海岸環境保全整備活動促進事業

ア 環境・生態系維持・保全活動等調査事業(海の羽根基金事業)

・海浜等の清掃活動に関して都道府県を通じてアンケート調査を実施した。

・漁業者が参加した植樹活動の実態等についてアンケート調査を実施した。

イ 環境・生態系保全活動支援事業(なぎさの環境基金事業)

次世代の環境保全を担う人材の育成と沿岸域の環境保全を目指す団体などが実施するプロジェクトに助成した。助成先は「呉市市民公益活動団体TeamJIN「仁」」、「誇れるふるさとネットワーク」、「江ノ島フィッシャーメンズ・プロジェクト」の3団体

(3) 漁業系海洋プラスチックごみ削減対策

①使用済み漁具の処理に積極的に取り組んでいる大分県漁協及び広島県漁連、海洋プラごみ問題に対する漁網開発の方針について日本製網工業組合に聞き取り調査を行った。

②宮城県内では漁協を拠点に漁網リサイクル実証試験を実施し、資源循環のモデル事業を実施した。長崎県対馬では離島に適した漁業系廃棄物の処理システム構築のための情報収集を行った。

③カキ筏に生分解性プラスチックで制作したカキパイプを垂下し、1年後にカキの収穫と同様の作業を実施して、破碎など耐久性を調査した。

その他、令和元年6月G20サミット関連会合として開催された農業大臣会合関連展示(5月10日～12日、新潟市)に関係企業と共同出展した他、水産業普及指導員研修会全国大会(9月4日～6日、兵庫県)や全国漁業協同組合学校(9月24日、学校内)、江田島市漁業振興協議会の研修会(9月26日、水産庁会議室)において、漁業系廃棄物対策に関する動きや事業内容を発表した。全国漁業士連絡会議(令和2年3月2日農林水産省7階)で講演予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

(4) 漁業系資材再利用モデル事業

水産庁の補助事業で当機構が構築した使用済み発泡スチロールを漁業者自らが圧縮減容機、ペレット造粒機を利用して、燃料として利用する仕組みについて、カキ養殖で使用した発泡スチロール製フロートの処理に困っている中華民国台南市漁港及近海管理署長から招請を受け、事業を引き継いでくれた企業と共に渡台(8月21日～23日)し説明した。

(5) 海と渚環境美化推進基金への募金の呼びかけ

「海と渚環境美化推進基金」の運用益並びに「海の羽根基金」及び「なぎさの環境基金」を原資とする海洋・海岸環境保全整備活動促進事業を行っていくために、「海の羽根」及び「なぎさの環境基金」のそれぞれの募金を広く呼びかけた。

2. 環境・生態系維持・保全活動等支援事業

藻場、干潟、サンゴ礁など青く生物豊かな沿岸域の環境の保全活動の促進を目的に、次の世代に環境保全を担う人材の育成と沿岸域の環境保全を目指す団体等が実施するプロジェクトに助成しています。令和元年度に助成した団体の活動を報告します。

詳しくはホームページ(<http://www.umitonagisa.or.jp/html/n-kikin.html>)に掲載しています。

SDGsに学ぶ子どもたちの豊かな海づくり ～渚のワンダーランド創生プロジェクト～Team JIN「仁」

【事業目的】

一昨年より取り組んできた小学校での環境学習と水産教室をととして、海の環境問題や水産物への関心を寄せる児童が年々増加しています。また、海岸清掃活動にPTAや地元自治会の協力を得るという地域協働のスキームも構築されつつあります。

今年度は、漂流するプラごみ回収のための体制を整備するとともに大学生と学ぶ機会を創出することで、活動の領域の拡大と関係人口の増大に取り組みます。

【課題と実施内容】

◇活動1：シーカヤックを利用した活動を安全に運営するためのサポーター育成
ガイナカヤックス(島根県)より講師を招き
開催2019.6.8



◇活動2：清掃・回収活動の情報を適切に発信することによる関係人口の増大
テレビ局の取材：漂流ごみ回収の様子を収録
地域連携海岸清掃：児童の協力要請に応じて参加したPTA、自治会など



◇『子ども・青少年版 SDGsプログラム』の策定

子どもたち自らで実践できるSDGsの具体的活動
・海岸清掃で拾い集めた竹を無煙炭化器で竹炭にリサイクル

⇒4時間の活動で30L用15袋分の竹炭を作り、農業用資材として検証中



【活動の成果と今後の課題】

- ◇メディア・SNS等の活用による活動への理解・認知の向上、サポーターの育成
- ◇子どもたちの探求心による地域密着型SDGs廃棄カキ筏の資源化
⇒環境に配慮した持続可能な水産業に回収カキパイプの買い取り制
⇒環境負荷に対する業界の負担
- ◇子どもたち、青少年の創意と行動
⇒地方創成の活力に
子どもたちが身近な問題を自分ごととして認識することができれば、「あるべき姿」と課題が明確になり、地域の活性化を誘発

【将来展望】

子ども、青少年の感性による社会問題の解決をサポート

- ◆子どもたちが、青少年や地域の住民とともに交流
ができるイベントを継続的に企画、開催(6月:豊かな
海づくり大会)
- ◆子どもたちが、地域固有の問題を青少年や住民と
共有し、ローカルSDGsを推進
(7月:2030SDGsワークショップ)



～「拾い箱」を通じた環境保全「習慣」普及プロジェクト～ 誇れるふるさとネットワーク

【活動内容】

①「拾い箱(※)」の普及・啓発

島内の海岸10ヶ所に設置し、拾われた漂着ごみは与論町役場・環境課が清掃センターまでの運搬・処理を行っている。イベント的に行う従来のごみ拾いとは異なる「ごみ拾い」=地域美化の習慣を根付かせることを図ると同時に、SNSでの発信、島内飲食店や宿泊施設での掲示物設置を通じて、観光客への普及・啓発を行う。

※ゴミ箱(ごみを捨てるための箱)ではなく「ごみを拾うための箱」。時間や場所を指定することなく、「いつでも気軽に砂浜をきれいにする」島民や観光客の一步を後押しするための箱

②島外地域への普及・啓発、視察研修の受入れ

漂着ゴミの現状や与論島における海岸清掃活動の成果に加え、漂着ゴミがもたらす魚や人間への悪影響、プラスチックなどの非生分解かつ使い捨て製品の大量消費、また、生活排水による海洋汚染・サンゴ礁など海の生物への悪影響、洗剤を使いすぎない食器の洗い方などを報告・普及を実施。

【成果1】計4地域での実施 約630名に対しての普及・啓発を実施

- ・10月5日(土)上五島町 海ごみワークショップ出席者:約180名
- ・11月17日(日)東京与論会 総会出席者:約160名
- ・11月18日(月)立教大学生「自然と人間の共生(後期)」受講生:約250名
- ・11月19日(火)桜美林大学生「環境教育論」受講生:約40名

過去に当団体だけで主催したイベント形式では「元々海ごみや環境に関心のある人」の参加が多くなるが、大学や与論会など既存の集まりにおいて実施することで「今まで海ごみ問題に関心のない人」への普及・啓発を行うことができた。

【成果2】視察研修を受入れ(2団体)

- ・4月28日(日)日本離島経済新聞社
(全国の離島の取り組みなどを紹介する会社)
- ・7月18日(木)日本財団(海洋教育に関する取り組みへの支援などを行っている団体)



【今後に向けて】

ごみ問題=使い捨て社会の在り方については、引き続き与論島内だけではなく、島外の地域、日本社会全体で一緒に考える機会を創出していきたい。また、今後「拾い箱」を中心とした環境保全活動に関する視察研修の受入れや大学生を対象とした環境教育プログラムの実施も進めていく。これにより、与論島の付加価値(環境先進地、環境教育としての価値)を生み出し、さらなる地域貢献、観光と環境の両立に寄与していきたい。

～第13回・第14回 海藻シンポジウム報告書～ 江ノ島・フィッシャーマンズ・プロジェクト

【第13回海藻シンポジウム】

・開催日時：令和元年12月14日(土)

・参加者：大人73名／小人62名 総人数142名

【第14回海藻シンポジウム】

・開催日時：令和2年2月22日(土)

・参加者：大人39名／小人34名 総人数71名

【第13回開催内容】

①藻場ミニ講義



②養殖ワカメの種付け・刈取り



③養殖棚までのミニクルージング



④海の生き物タッチプール



⑤漁師さんに聞いてみよう



⑥ダイバーズトーク

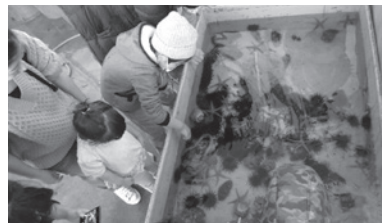


【第14回開催内容】

①養殖ワカメの刈取り



②海の生き物タッチプール



③スマホ顕微鏡



④ダイバーズトーク



⑤動画ブース



⑥フォークリフト



第13回は通常のパターンで無事開催ができましたが、第14回がこの様な事になろうとは全くの想定外でした。開催に踏み切るまで、かなり悩みました。

しかし、前向きなスタッフの後押しと、ご予約頂いたお客様からのキャンセルが少なかった事が開催への決断となりました。ワカメ自体が大漁だった事も一つです。藤沢市は結局、袋詰めワカメだけを取りに来て頂

く方法をとりました。開催時刻なっても誰も来ないのであるかとの不安もありましたが、開始時刻になると、ポツポツと来場されました。受付での説明やアルコール消毒、マスクの着用も皆様クレームも無く対応してくれました。そして何より『開催してくれてありがとうございます』と参加者皆様からお声がけ頂きました。アンケート結果にも記載されていました。

3. 令和元年度 海と渚クリーンアップ活動(海浜清掃活動)報告

未来に残したい、美しい浜辺・青い海

*全国から集まった海浜清掃活動報告をご紹介します。(ホームページに掲載したものの一部です)

*ホームページ <http://www.umitonagisa.or.jp/html/genchihoukoku.html>

*Twitter <https://twitter.com/umitonagisa>

■ 北海道

サロマ湖3漁協(湧別町区域)

令和元年6月22日午後1時~2時30分

活動場所 サロマ湖岸全域(北見市・佐呂間町・湧別町)

参加者 797名

ごみの量 6,000kg



湧別アウトドアクラブ

令和元年8月4日午前9時~10時

活動場所 湧別川河川敷

参加者 120名

ごみの量 自然物ゴミ150袋



■ 青森県

六ヶ所村

令和元年7月27日

活動場所 尾駸地区太平洋沿岸

参加者 584名

ごみの量 3,500Kg

コメント 昨年度よりも多くのごみを回収。赤色のゴミ袋は目につきやすく良いという意見も参加者から寄せられている。



野辺地町漁業協同組合

令和元年7月11日午前5時~7時

活動場所 上北郡野辺地町字目ノ越地区

参加者 93名

ごみの量 2,810Kg

コメント 継続が必要である。



中泊町

平成31年4月19日午前9時~11時

活動場所 マリンパーク・折腰内海岸

参加者 150名

ごみの量 自然物ゴミ 500袋

人工物ゴミ 500袋

コメント マリンパークの海岸と折腰内海岸を「小泊海岸を守る会」がボランティアで清掃活動を行った。



横浜町

令和元年6月23日

活動場所 横浜町内(陸奥湾沿岸地域)

参加者 850名

ごみの量 自然物ゴミ 100袋

人工物ゴミ 900袋

コメント 町民や産業団体などのボランティアで実施しているが高齢者が増え海岸線での清掃に参加できる人数が年々減少してきている。



■ 茨城県

大洗町

令和元年9月12日

活動場所 大洗サンビーチ、大洗海岸

参加者 1,000名

ごみの量 自然物ゴミ 1,000袋

人工物ゴミ 1,000袋

コメント 毎年7月に実施している町内の一斉清掃は荒天のため中止となったが、茨城国体の前にビーチバレーの会場となる大洗サンビーチを中心に清掃活動を実施し、茨城国体に向けて来場者をおもてなしする素晴らしい環境が整っただけでなく、海辺の環境美化に対する意識が向上した。



大津漁業協同組合 女性部

令和元年7月6、20日、8月8、24日、9月28日

活動場所 茨城県大津漁港

参加者 102名

ごみの量 自然物ゴミ 102袋

人工物ゴミ 49袋

コメント 釣り客のゴミ、港内の除草ゴミ等が多くみられた。



■ 東京都

小笠原母島漁業協同組合

①令和元年5月26日、27日

②令和元年6月1日、2日

活動場所 ①向島(小湊海岸・コベペビーチ)、蓬莱根海岸
②大崩湾、平島

参加者 ①24名 ②16名

コメント 人工物のゴミ、外国船(中国、韓国)のゴミが多い。



八丈島漁業協同組合女性部

令和元年8月8日

活動場所 底土漁師小屋

参加者 6名

ごみの量 自然物ゴミ 1袋

人工物ゴミ 4袋

コメント ゴミを持ち帰る人が少ない。



■ 神奈川県

みうら漁業協同組合

令和元年5月28日、6月9日、10月8日

活動場所 松輪地区・二町谷地区
間口漁港

参加者 262名

ごみの量 自然物 410袋
人工物 40袋

コメント 漂流物がかなり流れてくる。道路から雑草の所にゴミを捨てる方が多い。間口漁港（間口及び江奈地区）とその周辺に散乱している一般ゴミ、粗大ゴミ等の収集、処分、雑草の手入れ作業を部員が中心となり実施した。



小坪漁業協同組合

令和元年5月8日、10月20日、11月6日

活動場所 小坪漁港区域・逗子市第一運動公園・小坪漁港区域

参加者 漁業関係者他総勢約200名

ごみの量 自然物 200袋
人工物 100袋、
その他 流木・漁網・ブイ等

コメント 大量のゴミ処理に丈夫で使いやすく便利に使いました。



■ 千葉県

マリンブルーレンジャー

令和元年毎月末日曜日

活動場所 千葉県山武郡横芝光町
屋形岸

参加者 毎月20～30名

ごみの量 人工物ゴミ 毎月約300kg



■ 新潟県

上越プラネット直江津中学校生徒会

①令和元年6月1日午前7時～8時

②令和元年10月5日午前7時～8時

活動場所 上越市虫生岩戸から船見公園

参加者 ①800名 ②900名

ごみの量 人工物ゴミ

①1,000袋 970kg 計2,000袋

②1,000袋 1,003kg 計1,973袋

コメント 各団体で多くの参加者があったことから、地域貢献事業としての活動の幅が広がったと思われる。



■ 石川県

クリーン・ビーチいしかわ

平成31年4月1日～令和2年3月31日

活動場所 全国約200カ所

参加者 80,912名

ごみの量 自然物ゴミ 24,500袋
人工物ゴミ 20,500袋

コメント 2019年の各催し当日は好天に恵まれ、多くの人が各地で清掃活動に汗を流しました。中でも「学生クリーン・ビーチいしかわ大作戦」は19回目を迎え、これにより全19市町を一巡したことになります。初回に参加した学生は今では40歳前後になり、延べ人数は1,000人を超えています。時を経た今、家庭を持った彼ら彼女らが子どもと一緒にボランティアとして各地の清掃活動に参加していることと思います。「稚魚の放流」は熱中症対策のため、2018年に引き続き小学生の参加を見合わせました。「ピーサン跳ばし世界選手権in金沢」は、団体戦で連覇を達成するチームが現れました。「いしかわ漁民の森づくりin能登町」は、6月予定が大雨警報のため11月に順延しましたが、青天のもと無事終了することができました。石川県は比較的、自然災害が少ないように思えますが、いつ大規模な災害が起こってもおかしくありません。25年間の海岸清掃活動で育まれたボランティア精神が、万一の時に大きな力となると確信しています。2020年も安全に配慮し、活動を続けていきたいと思っています。



■ 富山県

富山新港火力発電所

令和元年6月20日12:30～13:00

活動場所 射水市海老江海岸

参加者 28名

ごみの量 自然物ゴミ 25袋
人工物ゴミ 3袋
その他 タイヤ等

コメント 海藻や小枝の他に、環境問題の原因の1つとなっているストローや発泡スチロールなどが見受けられた。綺麗になった海岸を見て、実施して良かったという声が多かった。



滑川市 産業民生部 商工水産課

5月24日 高月漁港海岸 40人

6月6日 滑川漁港海岸 24人

7月15日 滑川漁港海岸 約200人

8月6日 吉浦海岸 47人

9月25日 高月漁港海岸 40人



■ 静岡県

磐田市自治会連合会福田支部

令和元年6月2日、10月20日午前8時～9時

活動場所 遠州灘福田地区海岸、
福田地区内河川敷

参加者 2791名

ごみの量 自然物ゴミ 4,680kg、
人工物 905kg
その他 タイヤ3本、プラ
パイプ2本(2m)

コメント

- ・ゴミを海に捨てる事を何とも思わないモラルの無さが窺える。
- ・家庭ゴミが、多数見られた。地元だけでなく上流から流れて来た物も有ると思われる。作業のしやすい環境を整えなければ、参加者は増えない。（雑草の繁茂等）



■ 福井県

北潟漁業協同組合

令和元年6月2日、7月7日

活動場所 あわら市北潟・波松・浜坂
海岸

参加者 6月2日 60名

7月7日 143名

ごみの量 自然物ゴミ 101袋

人工物ゴミ 59袋、

その他（漁業用浮き）66個

コメント 3年連続して参加しているが、海外からのゴミがあいかわらず多い。清掃後の砂浜の状態が継続される事を望みます。（ボランティア参加より）



美浜町漁業協同組合

令和元年5月29日、6月9日、14日、7月7日

活動場所 美浜町早瀬地区、日向地区、坂尻地区、菅浜地区、丹生地区

参加者 280名
ごみの量 自然物ゴミ 164袋
 人工物ゴミ 61袋
 その他 55

コメント 外国からの漂着ゴミが多い。漂着ゴミで、漁網や太いロープ類は処理が不可能。



越前町漁業協同組合

令和元年7月16日

活動場所 小樟、大樟、道口、厨

参加者 325名
ごみの量 自然物ゴミ 10袋
 人工物ゴミ 20袋

コメント 夏祭りの後だったので、祭りで出たゴミが多かった。



■愛知県

蒲郡 530 運動推進協議会

令和元年5月26日、9月29日午前8:00～9:00

実施場所 蒲郡市内5ヶ所

①海陽ヨットハーバー周辺 ②竹島園地・市民会館周辺 ③浜町 ④春日浦海岸・北浜海岸 ⑤西浦町シーサイドロード

参加者 5月26日 1089名
 9月29日 686名

ごみの量 自然物ゴミ 1,000袋
 人工物ゴミ 1,000袋

コメント 市内の海岸5ヶ所の清掃活動で市外からの参加者も多く、大きな行事となっており、暑い中での作業になるが頑張りますとの声があがり好評を得ている。最近は海岸が以前よりもきれいだという声も耳にする。



美浜町

令和元年6月3日、7月13日、10月15日

実施場所 美浜町西海岸（伊勢湾側）、東海岸（三河湾側）

参加者 143名
ごみの量 自然物ゴミ 200袋
 人工物ゴミ 150袋

コメント 自然物ごみを全て袋に詰めるのはとても時間がかかるため、その場で燃やして処理をしたい。（風向き等は自分達で判断）



■京都府

京都府漁業協同組合

宮津支所

令和元年12月8日 午前8:30～10:30

活動場所 阿蘇海船越海岸一帯

参加者 16名
ごみの量 自然物ゴミ 18袋
 人工物ゴミ 5袋

コメント ゴミは少なかったです。



■三重県

大紀町

①令和元年6月19日 ②8月19日

活動場所 錦向井ヶ浜

参加者 ①10名 ②20名

ごみの量

①自然物ゴミ 4袋
 人工物ゴミ 4袋、
 その他 自然物袋以外にも、2ダンブ4車分の流木（枝）を処理

②人工物ゴミ 20袋
 その他 花火カス拾い時に参加者に自然物の袋で集めてもらった為

コメント 7月の海開き行事に向けての浜の清掃。漂着物を取り除いて、浜がきれいになった。前日行われた錦花火大会の花火カス拾い。花火大会時の風向きから、今年は思った以上に浜にカスが落ちていた。



■滋賀県

滋賀県漁業協同組合連合会

令和元年7月1日

活動場所 琵琶湖湖岸等

参加者 2,717名
ごみの量 可燃物ゴミ 112.12トン
 不燃物ゴミ 74.68トン



■兵庫県

高砂火力発電所

令和元年6月10日

活動場所 高砂火力発電所正門から発電所南側釣り場（高砂市）

参加者 48名
ごみの量 自然物ゴミ 8袋
 人工物ゴミ 1袋



■愛媛県

松前町役場町

民課生活環境係

令和元年6月1日

活動場所 松前町 塩屋海岸

参加者 200人（町全体では約2,000人）



大洲市・長浜小学校

令和元年7月16日

活動場所 長浜港海岸

参加者 235人（大人12人、子ども223人）

ごみの量 人工物ゴミ 14袋
 （主に空缶）



大洲市・長浜中学校

令和元年7月8日

活動場所 長浜港海岸

参加者 112人（大人1人、子ども111人）

ごみの量 自然物ゴミ 4袋
人工物ゴミ 54袋（主に空缶、瓶）



大洲市・長浜高等学校

令和元年7月12日

活動場所 長浜港海岸

参加者 137名

ごみの量 自然物ごみ 29袋
人工物ごみ 10袋
（主に空缶）



愛南町・東海公民館

令和元年7月15日

活動場所 東海公民館周辺海岸

参加者 150名

ごみの量 自然物ごみ220袋
人工物ごみ180袋



■香川県

土庄町内の大木戸自治会他4グループ（大木戸青年会、大木戸子ども会、大木戸子ども会育成会、美しい港の里づくり協議会）

令和元年6月23日、8月4日、10月20日

活動場所 土庄町柚ヶ浜

参加者 217名

ごみの量 自然物ゴミ 大52袋
人工物ゴミ 小60袋

コメント 自然物（燃やせる）、人工物（燃やせないごみ）としてそれぞれに分別してゴミを集めることができ、使いやすい袋だった。また、参加者は、海岸砂浜にたくさんのゴミが打ちあがっている現状を知り、ゴミに対する関心を深めることができた。



土庄町内の鹿島子ども会

令和元年5月26日、10月6日

活動場所 土庄町 鹿島海水浴場

参加者 46名

ごみの量 自然物ゴミ 大25袋
人工物ゴミ 小28袋

コメント 海岸砂浜にたくさんのゴミが打ちあがっている現状を知り、ゴミに対する関心を深めることができた。



■高知県

高知県四万十町

①令和元年6月19日 9:00～12:00

【地元小学校、中学校、ボランティア等】

②令和元年4月1日～8月31日

【四万十町観光協会等】

活動場所 興津海水浴場

参加者 ①70人 ②250人

ごみの量 ①自然物ゴミ60袋、人工物ゴミ60袋

②自然物ゴミ800袋、人工物ゴミ800袋

コメント ①海水浴シーズン前に行う地元小中学校とボランティアによる一斉清掃②年間を通じた定期的な清掃活動



■徳島県

美波町観光協会（マリンプルーレンジャー）

令和元年6月30日、8月26日

活動場所 田井ノ浜海水浴場

参加者 31名

ごみの量 3,000kg

コメント 砂浜両岸に堆積している粗大ゴミを回収。



■岡山県

岡山県漁業協同組合連合会

令和元年6月～7月

活動場所 岡山県地先海面・海岸 80km

参加者 1,450名

ごみの量 自然物ゴミ 9,300袋
人工物ゴミ 2,120袋

コメント 豪雨被害のあった昨年度に比べると、ゴミの量は少なかった。・更に大きいサイズの袋があれば、より作業がしやすい。・今年度は漁業関係者だけでなく、地元自治会や中学生も参加してくれた。この輪を広げていきたい。



■広島県

竹原火力発電所

令和元年10月16日

活動場所 長浜海岸地域（長浜海水浴場他1箇所）参加者101名

ごみの量 自然物ゴミ 40袋
人工物ゴミ 20袋

コメント 熱中症防止の為、気温が下がった時期に実施。



大崎上島町

令和元年7月7日

活動場所 鮎崎海岸、外表海岸、木江海岸、大西海岸、大串海岸

参加者 616名（地元地区住民、漁協）

ごみの量 自然物ゴミ 100袋
人工物ゴミ 50袋
その他 流木、タイヤ、発砲スチロール、プラスチック類

コメント 流木や発砲スチロール、プラスチック類等の漂着ゴミが多く回収された。



■島根県

漁業協同組合 JFしまね 約21団体

実施日時 7月13日～7月15日

活動場所 JFしまね各支所・出張所
管内参加者 2,400名

ごみの量 一般ゴミ 2,737袋
カン・ビンゴミ 2,424袋
その他 流木等大型ゴミ
については直接コンテナに
積み込み

コメント 若干雨の心配もあったが、「海の日」を中心に計画通り実施された中、一部の地域は川からの木材や竹類が漂着したほか、木片・竹片、海藻類、外国製プラスチック類、ブイ、ロープ類等の漂着ゴミを中心に、漁具・漁網、ペットボトル、缶類等が回収されたようだ。海水浴場を中心に砂浜等の海岸においては、弁当殻、空き缶、使用済み花火等のポイ捨てゴミが相変わらず目立った地区もあった。



■鳥取県

鳥取市林務水産課

実施日時：令和元年4月14日、6月16日、7月7、13、14、23日、8月18日、

活動場所 岩戸海岸、青谷海岸、船磯海岸・漁港内、岩戸港周辺

参加者 280名



■福岡県

NPO 法人築上町観光協会

実施日時 令和元年7月7日

午前8:00～9:30

活動場所 浜の宮海岸

参加者 860名

ごみの量 自然物ゴミ 800袋
人工物ゴミ 200袋
その他 200袋 積み込み

コメント 「海と渚のごみ袋について、サイズが小さいので大きくしてほしい。」という意見が出された。



ラブアース実行委員会

活動場所 令和元年6月2日午前9:00～10:30

実施場所 町内の海岸線一帯

参加者 1,102名

ごみの量 7,930kg

コメント 町の海岸線は潮風を感じながらサイクリングや散歩が楽しめるほか、サーフィンなどのマリンスポーツも楽しめ、年間を通して多くの人たちが訪れる。また、県下では数少ないアカウミガメが産卵に訪れる場所でもある。この海岸の環境を守るため、毎年6月の第1週目の日曜日にボランティアによる海岸線の一斉清掃「ラブアース・クリーンアップ」を実施している。



■佐賀県

佐賀県

令和元年8月17日 午前8:00～

活動場所 佐賀県佐賀市 東予賀海岸

参加者 900名

ごみの量 自然物ゴミ 1,000袋
人工物ゴミ 30袋

コメント サガテレビと佐賀県が共同で県民や団体に呼びかけて、有明海の東与賀海岸の清掃活動を実施した。



大浦浜漁業協同組合

令和元年7月13日午前8時～12時

活動場所 玄海沿岸域海浜

参加者 50名

ごみの量 自然物ゴミ 20袋
人工物ゴミ 15袋

コメント 玄海における廃棄物による漁業被害及び漁場の効用低下を抑制するため、漁業者自らが廃棄物の除去・回収処理をおこない、漁場の環境保全を図った。



■大分県

姫島村役場

令和元年7月27日

活動場所 姫島周辺海岸

参加者 870名

ごみの量 自然物ゴミ 1,058袋
人工物ゴミ 800袋

コメント 台風の影響で昨年よりも人口漂着物が多かった。



別府市

令和元年7月13日、14日

活動場所 亀川漁港外4港、関の江海岸、上人ヶ浜海岸、餅ヶ浜海浜公園、スパビーチ、北浜公園

参加者 300名

ごみの量 自然物ゴミ 8.7㎡
不燃物ゴミ 1.4㎡

コメント 当初、7月14日に開催を予定していたが、降雨が予想されたため一部の漁港で13日に前倒しで行い、14日は清掃中止にしたが、有志が自主的に清掃活動を行った。そのため、参加者が少なくゴミの収集量が少なくなった。



■鹿児島県

東串良町役場

平成31年3月30日、5月27日、7月7日、14日

活動場所 東串良町柏原海岸周辺、串良川河川敷周辺

参加者 400名

ごみの量 自然物ゴミ 420袋
人工物ゴミ 420袋

コメント 砂浜だけでなく、漁港、上架施設周辺も清掃活動を行った。近年多い一般からの家庭ごみも不法に持ち込まれ放置されていたが、参加者により全て片付けられると共に、ゴミも専門業者に搬出され、大変きれいになった。また、河川敷のゴミ拾いでは隣町も協力しておこない、空き缶等のゴミが大量に集められた。



■宮崎県

外浦漁業協同組合

令和元年8月9日、12月27日午前7時

活動場所 みなとの森公園周辺
夫婦浦港 外浦港

参加者 121名

ごみの量 自然物ゴミ 2t車1台、
軽トラック2台、人工物ゴミ
軽トラック1台、
その他 軽トラック1台

コメント 岸壁清掃。



宮崎漁協 女性部

令和元年7月16日午前7時30分～

活動場所 宮崎港漁船係留岸壁周辺

参加者 50名

ごみの量 自然物ゴミ 20袋
人工物ゴミ 60袋

コメント 漁船係留岸壁周辺の清掃。



■ 熊本県

天草市市民生活課

令和元年7月7日～8月18日

活動場所 牛深地域、栖本町、倉岳町、五和町、天草町、河浦町の各海岸

参加者 3,076名

ごみの量 自然物ゴミ 5.15m³
人工物ゴミ 2.51m³
総量のみ把握 177.22m³
ゴミ量総計 184.88m³

コメント 天草市内各地において、地域ごとに独自の清掃活動を実施。



津奈木町住民課

令和元年7月15日8:30～10:00

活動場所 福浦漁港周辺・三ツ島海水浴場・合串漁港周辺・平国漁港周辺・赤崎漁港周辺・大泊漁港周辺・干拓堤防

参加者 250名



■ 電事連

北海道電力株式会社 斜里ネットワークセンター

6月28日

活動場所 斜里町以久科海岸

参加者 3名

ごみの量 自然物ゴミ 4袋
人工物ゴミ 1袋



北海道電力株式会社 帯広支店・大樹ネットワークセンター

5月12日

活動場所 広尾町海岸

参加者 6名

ごみの量 自然物ゴミ 3袋
人工物ゴミ 4袋



北陸電力株式会社 原子力本部

令和元年7月8日

活動場所 増穂浦海岸（石川県羽咋郡志賀町富来領家地内）

参加者 75名

ごみの量 自然物ゴミ 90袋
人工物ゴミ 140袋

コメント 最近、海のプラゴミが話題にあがっていますが、この増穂海岸も同じでプラゴミが多く、特にハンゲルのプラスチックやペットボトルが目立ちました。また、砂浜が近年小さくなってきており、場所によっては消滅している現状に寂しく感じました。



北陸電力株式会社 志賀原子力発電所及び 協力会社

令和元年7月10日

活動場所 石川県羽咋郡志賀町大島海岸

参加者 110名

ごみの量 自然物ゴミ 100袋
人工物ゴミ 100袋

コメント 大変暑い中での作業でしたが、約1時間の清掃作業できれいになった海岸を見てスッキリしました。



中部電力株式会社 本・支店

令和元年5月、6月、7月

活動場所 浜岡砂丘、浜名湖岸（湖西市）・刑部川堤防（浜松市）他

参加者 452名

ごみの量 自然物ゴミ 100袋
人工物ゴミ 147袋

コメント 人出の多いゴールデンウィーク明けに、つり広場および放水口周辺の清掃を実施した。



東京電力HD 株式会社 柏崎刈羽原子力発電所

①令和元年4月20日（土）9:00～10:00
②令和元年6月8日（土）7:00～8:00
③令和元年6月18日（火）9:30～10:30

活動場所

①柏崎市内の青海川海岸（柏崎市主催行事）
②柏崎市内の大崎海岸（柏崎市主催行事）
③柏崎市内の荒浜海岸（発電所の環境月間行事）

参加者

①15人（東京電力HD社員の参加人数。他団体等からの参加もあり）
②30人（東京電力HD社員の参加人数。他団体等からの参加もあり）
③108人（東京電力HDと発電所構内の請負企業の参加人数）

ごみの量

①1,050kg（主催者（柏崎市）発表）
②3,090kg（主催者（柏崎市）発表）
③100袋

コメント 何れの海岸清掃でも、参加者は、行楽・海水浴シーズンを前にきれいな海岸にするために、気持ちの良い汗をかくことができたと思います。



令和元年度 海の羽根募金・なぎさの環境基金

海と渚をきれいにを目指す「海と渚の環境美化活動」に皆様方からの温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。
(個人の方からもたくさんのご支援をいただきましたが、団体名のみ記載させていただきます。)

- 青森県漁業環境保全振興協会
- 秋田県漁協女性部連絡協議会
- 東京都漁業協同組合連合会
- 兵庫県漁協女性部連合会
- 福岡県漁協青壮年協議会
- 佐賀県有明海漁業協同組合
- 大分県漁業協同組合
- 長万部漁業協同組合
- 落部漁業協同組合
- 福島古岡漁業協同組合
- 雄武漁業協同組合
- 沙留漁業協同組合
- 枝幸漁業協同組合
- 平内町漁業協同組合
- 外ヶ浜漁業協同組合
- 重茂漁業協同組合
- 後潟漁業協同組合
- 協野沢村漁業協同組合
- 宮城県漁業協同組合気仙沼地区支所
- 中之作漁業協同組合
- 富津漁業協同組合
- 横須賀市東部漁業協同組合
- 小坪漁業協同組合
- 葉山町漁業協同組合
- 越前町漁業協同組合
- 京都府漁業協同組合湊支所
- 岡山市漁業協同組合
- 小島漁業協同組合
- 海門市漁業協同組合
- 南あわじ漁業協同組合
- 沼島漁業協同組合
- 西脇漁業協同組合
- 高知県漁業協同組合下ノ加江支所
- 高知県漁業協同組合室戸統括支所
- 椿泊漁業協同組合
- 新居浜漁業協同組合
- 壬生川漁業協同組合
- 魚島村漁業協同組合
- 瀬戸内漁業協同組合
- 阿多田島漁業協同組合
- 津名漁業協同組合
- 宇久井漁業協同組合
- 姫路市漁業協同組合白浜支所
- 音戸漁業協同組合
- 下蒲刈町漁業協同組合
- 山口県漁業協同組合小串支店
- 岩国市漁業協同組合
- 鳥取県漁業協同組合福部支所
- 牟礼漁業協同組合
- 鴨庄漁業協同組合
- 橘浦漁業協同組合
- 福岡市漁業協同組合能古支所
- 宗像漁業協同組合
- 北九州市漁業協同組合
- 大村湾漁業協同組合東彼杵支所
- 大分県漁協日出支店
- 佐賀玄海漁業協同組合呼子町支所
- 宇久小値賀漁業協同組合
- 大浜漁業協同組合
- 滑石漁業協同組合
- 栄松漁業協同組合
- 東松島漁業協同組合
- 糸満漁業協同組合
- 千葉県信用漁業協同組合連合会
- 三重県信用漁業協同組合連合会親睦会
- 香川県信用漁業協同組合連合会
- 長崎県信用漁業協同組合連合会
- 宮崎県信用漁業協同組合連合会
- 沖縄県信用漁業協同組合連合会
- 香川県漁業共済組合
- 共水連大分県事務所
- 全国漁業協同組合連合会釧路油槽所
- 全国漁業協同組合連合会長崎油槽所
- (一財) 中央漁業操業安全協会
- (一社) 海外まき網漁業協会
- (一社) 漁業情報サービスセンター
- (一社) 水産土木建設技術センター
- (一社) 責任あるまぐろ漁業推進機構
- (一社) 全国まき網漁業協会
- (一社) 全日本漁港建設協会
- (公財) 海外漁業協力財団
- (公財) 海洋生物環境研究所
- 全国さんま棒受網漁業協同組合
- 全国遠洋沖合漁業信用基金協会
- 全国市町村水産振興対策協議会
- (国研) 水産研究・教育機構北海道水産研究所
- (国研) 水産研究・教育機構増養殖研究所
- (国研) 水産研究・教育機構西海区水産研究所
- (国研) 水産研究・教育機構
- (特非) 水産業・漁村活性化推進機構
- 青森魚類(株)
- (株) イタ飯屋
- (有) 内田プラスチック
- (株) エルコム
- 小川総合法律事務所
- (株) 群馬銀行
- 酒田曳船(株)
- 札幌聖心女子学院
- サントリービバレッジサービス(株)
- ソフトバンク(株)
- ダイドードリンコ(株)
- たい公望(有)
- 大和ハウス工業(株)
- 谷口商会(株)
- (株) チエノワ情報システムズ
- 土居石油(株)
- 東洋漁業(株)
- (有) 仁徳海運
- 日本ソリッド(株)
- 南山高校女子部文化祭有志団体 SDGS
- ヤンマー造船(株)
- 横浜冷凍(株)
- (株) ラムダ
- (株) リミックスポイント
- (株) ロックブリッジ
- 北海道水産庁水産局水産振興課
- 青森県農林水産部水産局水産振興課
- 新潟県水産局海洋研究所
- 新潟県農林水産部水産課
- 茨城県農林水産部漁政課
- 千葉県漁業資源課
- 東京都水産課
- 東京都島しょ農林水産総合センター
- 神奈川県農政部水産課
- 静岡県経済産業部水産局
- 三重県農林水産部水産資源・経営課
- 富山県農林水産部水産漁港課
- 島根県農林水産部水産和会一同
- 山口県水産研究センター
- 香川県水産課
- 徳島県水産振興課・漁業調整課部会
- 長崎県漁港漁場課
- 大分県農林水産部漁業管理課
- 宮崎県水産政策課
- 沖縄県水産局海洋技術センター
- 水産庁漁場資源課海洋保全班
- 北海道漁業調整事務所
- 仙台漁業調整事務所
- 水産庁新潟漁業調整事務所
- 境港漁業調整事務所
- 瀬戸内海漁業調整事務所

あ と が き

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、世界の日常が一気に変わってしまいました。3密を防ぐためにとられた外出自粛等、景気の減退により、需要が激減し、第一次産業の漁業者は出漁もままならず、ステイホームを強いられることとなりました。またさまざまな方々の仕事も大きな影響を受けました。しかし、幸いなことに諸外国に比べ日本では「家に入るときには靴を脱

ぎ、トイレでの手洗い励行、マスク常用」等、様々な衛生習慣・環境の良さと「災害に真摯に向き合う資質」が功を奏し、今のところ綱渡りではあるものの、なんとか宣言の解除にたどり着こうとしています。長丁場とも言われていますが、皆が自助・共助しあって、海浜環境の美化を進め、おいしい魚貝類等を皆で集まっておなか一杯食べられる日まで頑張らしましょう。(石山)

鴨川シーワールド 入園割引券

通常入園料金 割引料金

大人(高校生以上) ¥3,000 ▶ ¥2,700

小人(小中学生) ¥1,800 ▶ ¥1,620

幼児(4歳以上) ¥1,200 ▶ ¥1,080

シルバー(60歳以上) 通常料金通り¥2,400

本券を切り取り、チケットをお求めの際にご提出下さい。

2020年12月31日まで有効

- ・本券1枚で5名様までご利用できます
- ・他の割引券との併用はできません
- ・クーポン券、団体扱いには適用しません
- ・本券での受付時間は閉館1時間前迄です

公益財団法人
海と渚環境美化・油濁対策機構

×キリトリ

14 海の豊かさを 守ろう



15 陸の豊かさも 守ろう

